

ネット署名  
もやって  
います



## 北多摩東ニュース

2025 年  
第 2 号

都 教 組 北 多 摩 東 支 部  
電 話 (042) 384・2941  
FAX (042) 384・7904  
kita-higasi@mvc.biglobe.ne.jp

#せんせいふやそう #少人数学級の実現 #教育予算を増やそう

かがやけみんな  
のえがお

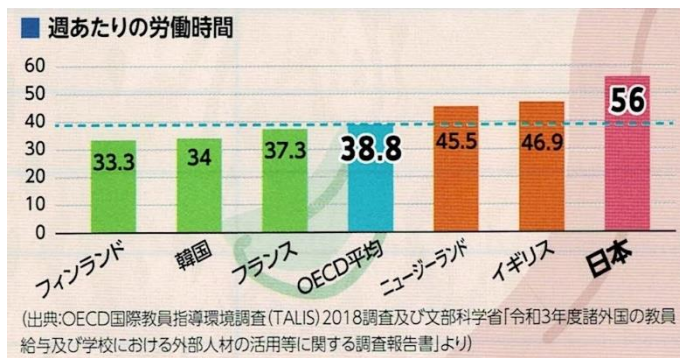
署名にご協力をお願いします



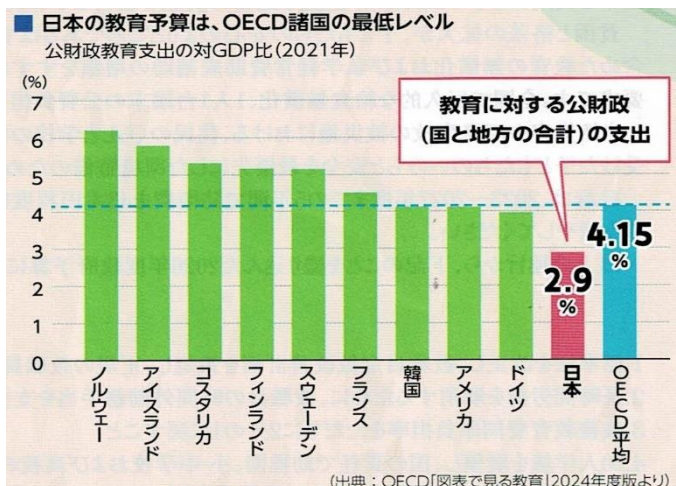
## 文科省への来年度の教育予算要求署名

- 標準法を改正し、正規の教職員を大幅に増やすこと
- 長時間労働を解消するために、教職員の時間外勤務の手当を支払うしくみをつくること
- 20人学級を展望し、小中高校までの全学年でただちに少人数学級実現を
- 特別支援教室編成基準を6人に改善すること
- 特別支援学校の過大、過密の解消を
- 教育費無償化の前進を ○給付制奨学金の支給を
- 被災地の子どもたちを守るため、学校と地域の復旧・復興をするめること

教育に穴があく」事態  
教職員の未配置が全国に広がり「教育に穴があく」深刻な事態が続いています。精神疾患による休職も過去最高を更新しています。  
これらを解決するためには、正規教職員の採用を安定して増やせるように、義務・高校標準法改正し定数改善計画の策定をすることです。  
小学校の35人学級が実現し、中学校の35人が計画されています。ただちに「高校の学級定員引き下げ」「20人程度で授業」というのが地域・保護者たちの願いです。  
長時間労働をなくすために、時間外手当の支給を  
日本の教職員は世界でもっとも労働時間が長いと国際調査で明らかになっています。時間外手当のあるフィンランド、韓国、フランスはOECD平均を下回っています。  
国会では、給特法の教職調整手当を現行の3%から10%に引き上げる改定案が論議されています。  
「定額働かせ放題」と言われる教職調整額の引き上げでは、長時間労働の歯止めには全くなりません。  
時間外勤務の対価を支払うしくみをつくり、教職員の数を増やすことこそ大切です。



署名用紙が分会にあります。



# 子どもが安心してすごせる 学級・学校ってなに？

## 支部春の新歓教研の報告

4月12日、北多摩東  
教育会館において春の  
新歓教研が開かれまし  
た。

新学期準備や学級開  
きで怒濤のような2週  
間を終えたばかりの週  
末でしたが、2時間があ  
つという間で、明日に向  
かう力をいただきました。

毎年行っている春の  
新歓教研。今年のテーマ  
は何にしようか話し合



いました。話し合う中  
で、今、一番大切なのは、  
学校や学級に子どもた  
ちにとって安心できる  
居場所があることでは  
ないかとまとまってい  
きました。

3名の方にレポータ  
ーになっていただきま  
した。

### 報告1

山口幸太さん（武蔵野・  
小）は、「安心してすごせ  
る学級」と題したレポー  
トです。

一般的には「褒めて育  
てる」と言われるが、「先  
生に褒められたいから  
やる」「他の子が褒めら  
れていることを快く思  
えない」「褒められない  
ことはやらない」そんな  
気持ち芽生えてしま  
うという話題から始ま

り、小学校2年生の学級  
で「競争を煽らない教  
室」を目指して、子ども  
を「ほめる」ではなく、  
「認める」言葉かけをす  
ることによって、子ども  
たちが変化していった  
様子を具体的に話して  
くださいました。

### 報告2

中学校からは植野容  
子さん（小金井・中）か  
らは、「二人ひとりを大  
切にした中学校の学年  
づくり」についてのレポ  
ート。

大人みんなで子ども  
を成長させていく意識  
をもち、丁寧な連携をす  
ることで、誰もが見通し  
をもつて仕事ができ、一  
人で抱え込まないで済  
む。子どもとたくさん関  
わる。トラブルは子ども  
たちの成長のチャンス  
でもある。いろんなこと  
が起きるから面白い！  
といったお話から、学年  
が一つのチームになっ  
て生徒たちと存分に関  
わっている様子が目に  
浮かびました。

### 報告3

木所聡さん（三鷹・小）  
から、「子どもがどんど  
んパワーアップ」と題し  
て、小学校の特別活動  
を中心にしたレポートが  
ありました。

人前で話すのが苦手  
な子にも配慮した自己  
紹介の方法や、楽しい自  
己紹介のバリエーショ  
ン、みんなで簡単に楽し  
めるゲームなどの紹介  
があり、明日からすぐ教  
室でやってみたくなる  
ものばかりでした。参加  
した今年2年目の先生  
から「学級活動のやり方  
がよくわからなくて……」  
という質問があり、それ  
についても具体的にア  
ドバイスをしてくださ  
いました。

参加者の皆さんが元  
気をもらった教研でし  
た。学びの輪をさらに広  
げていきましょう。

レポーターの皆さん、  
ありがとうございました。

### 新歓教研に参加して

◆子どもたちにとって  
安心できる学級を、子  
どもたちと共に、焦ら  
ずじっくり作っていき  
たいと前向きな気持ち  
になりました。

●新年度がスタート  
し、ここから1年学級  
をつくっていくのか  
不安に感じていた時に  
「子どもが安心できる  
学級」というキーワー  
ドに出会い、参加しま  
した。

すぐに生かすことが  
できる内容で大変勉強  
になりました。

